

報道関係者各位

2013年12月11日
森ビル株式会社

～ 真の国際都心形成に向けて ～
エリアの新しいつながりを育む「アークヒルズ サウスタワー」商業ゾーン
2014年1月14日(火) オープン

森ビル株式会社は、アークヒルズエリアの新しいつながりを育む場として、本年9月に竣工した「アークヒルズ サウスタワー」の低層部に位置する商業ゾーンを1月14日(火)にオープンいたします。

環境性や文化性、そして国際性豊かなアークヒルズエリア

「アークヒルズ サウスタワー」が位置するアークヒルズエリアは、「アークヒルズ」の竣工から四半世紀の歳月をかけて、環境性や文化性、そして国際性豊かな都市基盤を着実に育んできたエリアです。霞ヶ関などの業務エリアと白金・麻布といった閑静な住居エリアをつなぐ場所に位置し、新たな時代の働き方、住まい方をリードしてまいりました。地下鉄「六本木一丁目駅」に直結する「アークヒルズ サウスタワー」は、それらの環境を十二分に享受しながら、エリア内をひとつにつなぎ、様々な情報や知恵などが集積し、新しい価値を創造していく人や企業が集まる場として、エリアにおける新たな「核(コア)」の役割を担います。



アークヒルズ サウスタワー外観



アークヒルズ サウスタワー 商業ゾーン(イメージ)

“食”を中心に新たな価値やつながりを生み出し、豊かで楽しいワーク&ライフスタイルを創造

このたび、「アークヒルズ サウスタワー」低層部(B1F～2F)に新たに誕生する商業ゾーンは、ライフスタイルやコミュニケーションの中心ともなる“食”にこだわり、内食、中食、外食*など多様な食のニーズに対応する店舗で構成しました。地元にお店をおく人や個人オーナーの店も揃い、店と店、店と地域といった「ご近所(ネイバーフッド)」のつながりを生み出す、新しいスタイルの「商店街」のような場づくりをしていきます。

アークヒルズエリアでは「アークヒルズ サウスタワー」に続いて様々な再開発が控えており、真の国際都市形成に向け、豊かな働き方、住まい方が実現できるエリアとして進化を続けています。その中において、「アークヒルズ サウスタワー」の商業ゾーンは、エリアと共に成熟していく「まちのキッチン」として、このエリアに住み、働く様々な国籍と文化的背景を持った人たちが、“食”を中心に新たな価値やつながりを生み出し、豊かで楽しいワーク&ライフスタイルを創造する、真の国際都心形成に向けた重要な役割を果たしてまいります。

※1: 内食＝食材を購入し自宅で調理して食べる、中食＝惣菜や食事をテイクアウトして食べる、外食＝飲食店など自宅以外で食べる

エリアと共に成熟していく「まちのキッチン」を目指して

「アークキッチン」と名付けられた地下1階には9店舗が出店。そのメイン店舗となるナチュラルフードマーケット『福島屋』には、創業者であり現会長を務める福島徹氏をはじめとした福島屋スタッフが、可能な限り国産・無添加にこだわって全国から厳選した野菜や肉、魚をはじめ、店内のキッチンで調理されるおいしくてナチュラルな惣菜が並びます。また、このほかに、ワインや旬の食材にこだわったカジュアルなバルや食堂がコンパクトに揃います。

殆どの店でテイクアウトにも対応しており、テイクアウトした食事は敷地内にある高さ12mの滝が印象的な「サンケンガーデン」や地上100mの屋上庭園「スカイパーク」(2014年3月一般開放予定)、またアークヒルズエリアに広がる緑豊かな環境の中でも楽しむことが可能です。



都心部の超高層ビルの上としては最大級の規模となる約 1100 m²の屋上庭園「スカイパーク」



地下1階「アークキッチン」に面する「サンケンガーデン」(イメージ)



緑豊かなオープンスペースも充実

<2014年1月14日(火)にオープンする店舗一覧>

フロア	店舗名	業態
地下1階「アークキッチン」		
	ファミマ 福島屋	ナチュラルフードマーケット
	ドワタルノオコノミヤキ サンテカン 戸田直のお好み焼 さんて寛	お好み焼
	エツボ 笑壺	和食居 酒屋
	シャトー・メルシャン トーキョー・ゲスト・バル	ワインバル
	スシ キョウタツ すし 京辰	鮨
	チャーハンセンモン イチバ トントン 炒飯専門市場 童童	中国料理
	ニケヤ カクノシエフ 肉屋 格之進F	グリルステーキ&ハンバーグ
	ブリアンツァ ロクイチ Brianza 6・1	イタリアン
	ザサードバーガー the 3rd burger	バーガーショップ
1階		
	チュンスイタン 春水堂	お茶専門カフェ
	フェルミンチョ ボカ FERMINTXO BOCA	ガストロ スペインバル

※第1弾として上記11店舗が2014年1月14日にオープン。その後、同年3月までに5店舗が順次オープン予定です。

アークヒルズエリアは、グローバルに活躍するビジネスマンが多く活動するとともに、来街者や住民も多く行き交い、近年は子育て世代やシニア世代も増加しており、平日でも足早に歩くビジネスパーソンに混じり、お子様を連れて散歩に訪れるファミリーも多数見かけます。「アークヒルズ サウスタワー」の商業ゾーンは、国際的に活躍するワーカーや地域の人々が日常使いし、コミュニケーションのハブとなる「まちのキッチン」を目指します。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 田澤・松本

TEL :03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail:koho@mori.co.jp

<参考資料>アークヒルズ サウスタワー 概要

「アークヒルズ サウスタワー」は、アークヒルズエリアに位置する2つのビル「六本木21森ビル(1971年竣工)」「六本木25森ビル(1973年竣工)」の一体建替プロジェクトとして、2013年9月に完成。エリアが目指す国際都心にふさわしい複合オフィスビルに生まれ変わりました。

1フロア面積約1,900㎡(約570坪)の整形なオフィス、「食」を中心に新しいライフスタイルを提案する店舗スペース、超高層ビルとして都心部最大の屋上庭園などから構成。最新技術を駆使した環境性能のほか、高い耐震性能や非常用発電設備を有し、BCPの需要を満たす最新鋭の複合オフィスビルです。

東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」に直結し、改札口からダイレクトアクセス可能な当プロジェクトは、新設する歩行者デッキ「アークさくら橋」によりアークヒルズと、地下の「サンクンガーデン」により泉ガーデンとをつなぐアークヒルズエリアの交通の要所としての役割も果たします。

当エリアおよび周辺では今後、当社が関わる「虎ノ門ヒルズ(環状二号線Ⅲ街区計画)」(2014年竣工予定)のほか、他事業者による様々な開発プロジェクトも進行中です。オフィスはもちろん、住環境としても利便性、環境性、文化性に優れた魅力あふれる都市としての基盤整備が着実に進行、真の国際都心形成が加速してまいります。



真の国際都市形成に向け進化するアークヒルズエリア

【計画概要】

名称：アークヒルズ サウスタワー	所在地：東京都港区六本木1-4-5
敷地面積：5,846㎡	建築面積：3,131㎡
延床面積：55,033㎡	用途：事務所、店舗、駐車場
階数：地下3階、地上20階、塔屋1階	高さ：約108m
基準階面積：約1,883㎡(570坪)	天井高：2.9m(特殊階 3.0m)
構造：鉄骨造、	
制振装置：粘性体制震壁、粘弾性ダンパー、アンボンドブレース	
駐車場：136台	
非常電源：非常用ディーゼル発電機(運転時間72時間)	
空調熱源方式：地域冷暖房(DHC)、蓄熱槽	
建築主：森ビル株式会社	
設計者：森ビル株式会社一級建築士事務所 (建築) 株式会社入江三宅設計事務所 (構造) 清水建設株式会社一級建築士事務所 (電気・設備) 株式会社建築設備設計研究所 (サイン) 株式会社黎デザイン総合計画研究所 (歩行者デッキ) パシフィックコンサルタンツ株式会社 (外構) 株式会社タウンスケープ研究所	
施工者：清水建設株式会社	
着工：2011年4月	
竣工：2013年9月	

